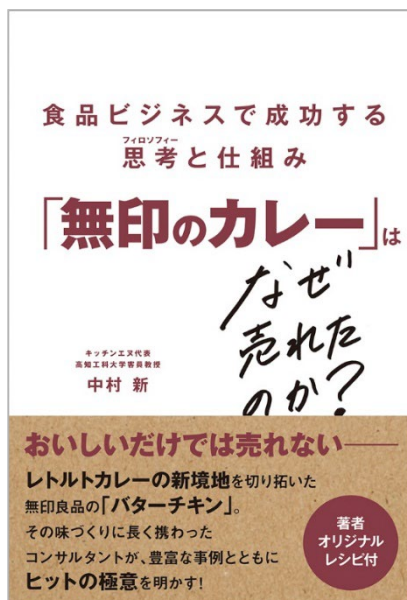


『「無印のカレー」はなぜ売れたのか？』1/27 発売

～コンサルタントが明かしたヒットへの道程や極意が 1 冊に～

株式会社オレンジページ（東京都港区）は、『「無印のカレー」はなぜ売れたのか？ 食品ビジネスで成功する思考（フィロソフィー）と仕組み』（産業フードプロデューサー・中村 新 著）を1月27日（月）に刊行しました。レトルトカレーの新境地を切り拓き、無印良品の「食」の象徴的存在となった「バターチキン」。その味づくりに長く携わった中村氏が、ヒットへの道程や極意を、豊富なエピソードとともに解説。思考から値づけまで食ビジネス成功のポイントを明かした1冊です。



「成功の土台にはフィロソフィーがある」

（本書「はじめに」より）

売れる味

失敗から得たチャンス

付加価値のつけ方

客の“味覚成長”

LTV（ライフタイムバリュー）

定価の構造 etc.

食のコンサルタントが

成功に導く思考と仕組みを解説！

中村 新 『「無印のカレー」はなぜ売れたのか？』（帯あり）

無印良品「バターチキン」陰の立役者が、さまざまなノウハウを惜しみなく開示

「Café & Meal MUJI」のメニュー開発に始まり、レトルトの味づくり、「諸国良品」など 15 年以上にわたって良品計画の業務支援を行ってきた中村氏。ほかにも、大手の食品会社や小売、外食産業などの商品開発から、県庁のマーケティング支援まで、多様な「食」にまつわる事業に携わってきた氏が、これまで得てきた知財を「ノウハウの栄養」として、多くの方に役立ててほしいと書き下ろしたのが本書です。

具体的な事例を挙げたコンサルタントならではの視点での解説や、適正価格をつけるときの有効なリサーチ法といったノウハウまで、惜しみなく紹介。巻末には、オリジナルの〈外食店舗で人件費対策になる〉レシピも収録しています。「食」の世界に携わる人だけでなく、一般のビジネスパーソンにも、多くの気づきを与えてくれる 1 冊です。

■目次

はじめに 成功の土台にはフィロソフィーがある

1 章 嘶家志望だった少年が、食の世界にとりつかれた(はからずも“料理界の東大”へ／人生を変える出会いと大失敗／夢の番組担当が始まった／ヨーロッパ修行で受けた洗礼／ウエインストック卿の週末料理人 他)

2 章 無印のカレー開発秘話—おいしいだけでは売れない(素の食は民藝に置き換えられる／たかが下味、されど下味／本場に出かけたからこそわかったこと／バターチキンの“無印良品的本質”を見つける 他)

3 章 バターチキン快進撃の根底にあったもの(どっぷりと世界に入ることわかるフィロソフィー／バーミキュラの鍋は“MUJIっぽい”か？／「これがいい」ではなく、「これでいい」の意味／味の深化につきまとう原価調整の課題 他)

4 章 神田カレーグランプリの勝利

5 章 「地方」「土着」にひそむ、食ビジネスのチャンス

6 章 いちばん難しい「値づけ」の極意

【付録】中村 新 オリジナル簡単ごちそうレシピ(外食店舗で人件費対策になるレシピ。ご自宅用にも)



インドでのリサーチの様子



左から、青ネギと牛肉のバジル丼、にんにくと豆のスープ たっぶりのオリーブオイル、大根と白菜のドイツ風ソテー

■中村 新(なかむら しん)

産業フードプロデューサー／高知工科大学客員教授／株式会社キッチンエヌ代表取締役／嘶家料理人。

1959 年和歌山県生まれ。辻調理師学校(現・辻調理師専門学校)卒業後、同校教職員としてTBS「料理天国」を担当。のち渡欧し、三つ星「ル・ガヴローシュ」、一つ星「ル・プールボ」などで料理研修。帰国後、フランス料理「リオン・ドール」シェフ、「ホテルピエナ神戸」総料理長を歴任。雑誌やテレビなどメディア露出の傍ら、「一夜一夜」「菓子sパトリー神戸」ほか飲食店経営のコーディネーター・プロデュースも手がける。独立後、良品計画、ジェイアール東海フードサービス、UCC グループ、日本ケロッグなど名だたる優良企業を支援。地域活性、限界集落対策、食育などを研究する機関関連の調査も行う。『Café & Meal MUJI 野菜いっぱい人気のデリレシピ 60』(徳間書店)、『飲食店完全バイブル繁盛の掟 A TO Z 』(日経 BP)など著書多数。

中村 新『「無印のカレー」はなぜ売れたのか？ 食品ビジネスで成功する思考(フィロソフィー)と仕組み』

2025 年 1 月 27 日(月)刊行 定価 1,650 円(税込)

四六判、アジロ綴じ、226 ページ <https://www.orangepage.net/books/1883>

<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 16F 株式会社オレンジページ

総務部 広報担当: 遠藤 press@orangepage.co.jp

【2/2】